

※本リリースは2010年1月6日シドニーで発表されたリリースを基に作成しています。

報道関係各位

2010年1月7日
ジェットスター航空

ジェットスター航空とエアアジア ローコストキャリア初の業務提携で合意

ジェットスター航空とエアアジアはこの度、ローコストキャリアとしては世界初となる業務提携を発表しました。この提携により、コスト削減と専門技術の共同利用を図り、両社の航空運賃のさらなる引き下げを目指します。

この提携は、アジア太平洋地域を代表する2つのローコストキャリアが協力して大幅なコスト削減と実現可能な節約に幅広く取り組み、域内の顧客にメリットを提供するものです。

この合意の中心となるのは次世代ナローボディ機の共同仕様提案で、これにより低価格運賃を求める顧客のニーズに応えることを目指します。また、両社は機材の共同調達の実現も検討します。

カンタス航空のアラン・ジョイス CEO、ジェットスター航空のブルース・ブキャナン CEO、エアアジアグループのダト・スリトニー・フェルナンデス CEO が、2010年1月6日シドニーにおいて最終的な合意に達しました。

カンタス航空のアラン・ジョイス CEO は次のように述べています。「今回の歴史的な業務提携により、ジェットスターとエアアジアは、世界でも特に競争の激しい航空市場において優位に立つことになるでしょう。ジェットスターとエアアジアは、競合他社のどこよりも多くの路線と低価格運賃により、アジア太平洋地域において比類のないサービス網を展開しています。両社は今回の提携によってそのスケールを最大限に活用できることとなります。」

「両社は長距離路線のローコストキャリアという事業モデルを他に先駆けて発展させてきましたが、今回の発表も、従来の航空提携の殻を破り、コスト削減と業務効率向上を実現する新しいモデルを確立するものとなります。アジアの航空市場は成長性が高く、厳しい事業環境にもかかわらずこの1年で回復をとげ、域内の旅客数は今後大幅な増加が見込まれています。今回の提携により、両社はこうした成長の機会を十分に生かすことが可能になります。」

今回の合意により、以下の分野で共同で取り組むこととなります。

- 将来の航空機仕様 - 次世代ナローボディ機の共同調達を検討します。これによって大量発注によるコスト削減、ならびに高効率かつローコスト運航のための設計仕様の実現を目指します。
- 空港内での旅客/ランプハンドリング業務 - オーストラリアおよびアジア域内で両社が共通して乗り入れている空港において、旅客ハンドリングやグラウンドハンドリングを共同で実施します。
- 航空機部品の共通化と共同在庫管理 - 航空機部品やスペアパーツの共同在庫管理を実施します。
- 調達 - エンジニアリング業務や補充品/サービスを中心とした共同調達。ジェットスターは今後もオーストラリア国内の既存の施設を維持します。
- 旅客の振替輸送 - エアアジアとジェットスターの路線網全体について、旅客管理(運休時の支援と他方の便による振替輸送)に関する相互協定を締結します。



ジェットスター航空のブラス・ブキャナン CEO は次のように述べています。「この協調的な取り組みは、両社に共通するコスト重視の姿勢によって実現したものです。ジェットスターとエアアジアは、一貫して低価格運賃を提供しています。ジェットスターは、毎年 5%の管理可能費を削減していますが、今回の提携により、当社のコストポジションは一段と改善し、低価格運賃の継続的な提供が可能になるでしょう。今後、ジェットスターとエアアジアは、航空機メーカーの協力のもと、両社のビジネスに最適な次世代航空機を共同で開発していきたいと考えています。」

エアアジアグループのダト・スリ・トニー・フェルナンデス CEO は次のように述べています。「今回の提携は、エアアジアがローコストキャリアとしてのグローバルなリーダーシップを維持するための戦略の新たな一歩となります。エアアジアは、世界経済の回復に伴ってコストが上昇する中でも世界一ローコストの航空会社であり続けるために、今回の戦略的提携が役立つものと固く信じています。徹底したコスト削減は当社にとっての生命線であり、これによって可能となる低価格の運賃を今後もお客様に提供していきます。」

「次世代ナローボディ機の共同仕様の開発に積極的に取り組むことで、両社にとって多くの効率化が実現できると考えています。両社の購買力を結集すれば、航空機メーカーの協力を得て、エアアジアにとって将来の運航ニーズに合う最適なコンフィギュレーション、デザインの航空機を開発できる可能性があります。」

「ジェットスターとの間で業務上のシナジー効果を重視した戦略的提携を結ぶことは、当社にとって当然の成り行きでした。エアアジアとジェットスターはともにローコスト、低価格の運賃、そして高品質の顧客サービスという共通の理念を掲げています。エアアジアの拡大する路線網を支える広範な運航業務や関連サービスについて、適切なコスト削減策を見出すことには大きな意味があります。」

ジェットスターとエアアジアは、いずれも収益規模においてアジア太平洋地域最大級の航空会社であり、両社の 2009 年度の売上高は合わせて 30 億オーストラリアドルに達しています。

* 今回の協定は、政府認可が必要となる場合があります。

広報窓口: オグルヴィ PR 担当: 日本語対応(田中/藤原)

Tel: 03-5793-2334/2341, Fax: 03-5793-2381

e-mail: miho.tanaka@ogilvy.com, akiko.fujiwara@ogilvy.com